



umango

処理の自動化説明書

目次

目次	2
1. 自動化.....	3
2. 自動化レベル	4
3. バッチ通知.....	6
4. スケジュールしたエクスポート	8
5. エクスポートの失敗処理	10

自動化

Umango が処理対象のドキュメントを受け取った後、Umango が自動的に処理を実行するように設定することも、処理を実行するためにユーザーの介入を必要とするように設定することもできます。Umango 処理を自動化するために設定できる構成がいくつかあります。

1. [自動化レベル](#): ユーザー介入をオンまたはオフにするための設定、および処理中にユーザー介入が必要になるタイミング。
2. [バッチ通知](#): 処理でユーザの介入が必要な場合、ユーザは Umango サービスから電子メール メッセージを受信できます。
3. [スケジュールしたエクスポート](#): Umango は、選択したスケジュールに基づいてプロセス結果のエクスポートを遅らせることができます。
4. [エクスポートの失敗処理](#): エクスポート処理中に問題が発生した場合、umango はエクスポート処理を再試行できます。

自動化の構成は、処理の作成時またはインポート時に行うことができます。構成は後で変更できます。

1. 自動化レベル

ユーザー介入をオンまたはオフにするための設定、および処理中にユーザー介入が必要になるタイミング。ユーザーの介入をオフにすることができるので、処理は Umango によって完全に自動で実行されます。設定では 4 つの自動化レベルを設定できます。

自動化レベル

自動化設定は、バッチ処理時のユーザが修正レベルを設定することができます。

- a** ☒ ユーザの介入なしでバッチを処理する
- b** ☒ 処理ルールが成功した場合、バッチをエクスポートする
- c** ☒ 「ゾーン」が検証失敗した場合、ユーザが修正する
- d** ☒ 「ゾーン」の信頼度がトリガーしきい値を下回っている場合、ドキュメントを手動で処理します。

トリガーのしきい値

手動検証トリガーのしきい値

☒ 「ゾーン」のしきい値を使用する ☐ 処理のしきい値を使用する

自動化レベルのオプション

a. ユーザの介入なしでバッチを処理する

ユーザー介入を有効または無効にするオプション。

「チェックされている場合」、Umango はユーザーの介入なしにすべての処理(情報の取得とドキュメントのエクスポート)を自動的に実行します。

ユーザーの介入は、処理中にエラーが発生した場合にのみ表示されます。

「チェックされていない場合」、情報取得プロセス中に、ユーザーは取得する情報を手動で選択し、エクスポート プロセスを手動で開始できます。

b. 処理ルールが成功した場合、バッチをエクスポートする

情報取得後の自動エクスポートドキュメントを有効または無効にするオプション。

「チェックされている場合」、ドキュメントの情報取得が完了した後、ドキュメントが自動的にエクスポートされます。

「チェックされていない場合」、Umango は情報収集処理のみを実行し、エクスポート処理はユーザーの介入後に実行されます。

c. 「ゾーン」が検証失敗した場合、ユーザが修正する

ゾーンから取得した情報の検証を有効または無効にするオプション。ゾーン構成の詳細については、ゾーン設定ドキュメントを参照してください。

「チェックされている場合」、情報の検証が失敗した場合、処理にはユーザーの介入が必要になります。

「チェックされていない場合」、情報収集中に検証に失敗しても、処理は続行されます。

d. 「ゾーン」の信頼度がトリガーしきい値を下回っている場合、ドキュメントを手動で処理します。

ゾーンから取得した情報の正確性の検証を有効または無効にするオプション。ゾーン構成の詳細については、ゾーン設定ドキュメントを参照してください。

「チェックされている場合」、取得した情報の精度がしきい値を下回る場合、処理にユーザーの介入が必要になります。

「チェックされていない場合」、取得した情報の精度が閾値を下回っていても処理は続行されます。

2. バッチ通知

Umango プロセス中にエラーが発生した場合に電子メール通知の送信を有効にするオプション。エラーアラートを受信するためのメールアカウントを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. 処理構成で、「自動化」タブをクリックしてください。

The screenshot shows the 'Automation' tab selected in the top navigation bar. The interface is divided into several sections:

- 自動化レベル**: Includes checkboxes for 'Process without user intervention', 'Export batch on successful processing', 'Correct user on failed verification', and 'Manually process document on low confidence'. Below this is a 'Trigger threshold' section with radio buttons for 'Use zone threshold' (selected) and 'Use processing threshold'.
- スケジュールしたエクスポート**: Includes a checkbox 'Enable batch export for scheduled batches'.
- バッチ通知**: Includes a checkbox 'Enable email notification' which is highlighted with a red box.
- エクスポートの失敗処理**: Includes a checkbox 'Retry export after failure'.

自動化構成へのアクセス

2. 通知メールを有効にするオプションを「チェック」してください。
この機能を有効にしたい場合は、オプションのチェックを外したままにし、次の手順に進む必要はありません。

This screenshot is identical to the previous one, showing the 'Automation' tab. The 'Batch Notification' section has a red box around the 'Enable email notification' checkbox.

電子メール通知の有効化

3. アラート通知のメールの件名を入力してください。

メールの件名	
<div>Umango Batch Alert</div>	
空の場合、デフォルトの件名が使用されます	

メール件名の設定

4. アラートの受信者を入力してください。受信者が複数の場合は、電子メールを読点で区切ってください。

受信者のメールアドレス	
<div>test@gmail.com, test2@yahoo.com, test3@cosy.com</div>	
複数のメールアドレスをカンマで区切って入力してください	

メール受信者の設定

5. 送信者のメールアドレスと、メールサーバーから取得した SMTP 構成を入力してください。

送信者のメール	SMTP サーバー	ポート
<div> </div>		25
Sender email address	SMTP サーバー名	
ユーザ名	パスワード	<input type="checkbox"/> SSL が有効
<div></div>	<div></div>	
SMTP認証のユーザ名	SMTP認証のパスワード	

送信者と SMTP 構成の設定

3. スケジュールしたエクスポート

Umango の処理は、処理されたドキュメントを毎日特定の時間にエクスポートするように構成できます。この機能は、ピーク時にサーバーの CPU またはアップロード帯域幅の消費を管理する必要がある場合に役立ちます。スケジュールしたエクスポートを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. 処理構成で、「自動化」タブをクリックしてください。

The screenshot shows the 'Automation' tab selected in the top navigation bar. The main content area is divided into several sections:

- 自動化レベル**: A section for setting automation levels. It includes a description: '自動化設定は、バッチ処理時のユーザが修正レベルを設定することができます。' and a list of four checked options: 'ユーザの介入なしでバッチを処理する', '処理ルールが成功した場合、バッチをエクスポートする', '「ゾーン」が検証失敗した場合、ユーザが修正する', and '「ゾーン」の信頼度がトリガーしきい値を下回っている場合、ドキュメントを手動で処理します。' Below this is a 'トリガーのしきい値' section with a description '手動検証トリガーのしきい値' and two radio buttons: '「ゾーン」のしきい値を使用する' (selected) and '処理のしきい値を使用する'.
- 自動化**: The active tab in the top navigation bar, highlighted with a red box.
- インデックス**: A tab in the top navigation bar.
- 「ゾーン」**: A tab in the top navigation bar.
- 分離**: A tab in the top navigation bar.
- 画像の強化**: A tab in the top navigation bar.
- 保存先**: A tab in the top navigation bar with a green indicator.
- スケジュールしたエクスポート**: A section on the right side of the page. It includes a description: 'バッチは、毎日指定した時間にエクスポートするように設定できます。これは、サーバのCPU/パワーまたはアップロード帯域幅の消費がピーク時の影響を受ける場合に役立ちます。' and a checkbox labeled 'スケジュールされたバッチエクスポートを有効にする'.
- エクスポートの失敗処理**: A section on the right side of the page. It includes a description: '割り当てられた宛先へのエクスポートに失敗したバッチは、再試行するようにスケジュールできます' and a checkbox labeled 'エクスポート失敗後に再試行'.

自動化構成へのアクセス

2. スケジュールされたバッチエクスポートを有効にするオプションを「チェック」してください。

この機能を有効にしたくない場合は、オプションのチェックを外したままにし、次の手順に進む必要はありません。

This screenshot is identical to the one above, but with the checkbox 'スケジュールされたバッチエクスポートを有効にする' in the 'スケジュールしたエクスポート' section checked. This checkbox is highlighted with a red box.

スケジュールしたエクスポートの有効化

3. 処理されたドキュメントをエクスポートする時間を設定してください。

スケジュールしたエクスポート

バッチは、毎日指定した時間にエクスポートするように設定できます。これは、サーバのCPUパワーまたはアップロード帯域幅の消費がピーク時の影響を受ける場合に役立ちます。

☒ スケジュールされたバッチエクスポートを有効にする

スケジュール

次の時間後にエクスポートします。

14:00



エクスポート時間の設定

4. エクスポートの失敗処理

Umango には、エクスポート処理中にエラー（ネットワーク、資格情報、またはその他の理由）が発生した場合に、エクスポート処理を自動的に再試行する構成があります。エクスポートの失敗処理を設定するには、以下の手順に従ってください。

1. 処理構成で、「自動化」タブをクリックしてください。

自動化構成の画面。タブメニューで「自動化」が選択されている。左側の「自動化レベル」セクションには、4つのチェックボックスがあり、すべてがオンになっている。右側の「エクスポートの失敗処理」セクションには、「エクスポート失敗後に再試行」のオプションがあり、現在はオフになっている。

自動化構成へのアクセス

2. エクスポートの失敗処理を有効にするオプションを「チェック」してください。

この機能を有効にしたいくない場合は、オプションのチェックを外したままにし、次の手順に進む必要はありません。

同じ自動化構成画面ですが、「エクスポートの失敗処理」セクションの「エクスポート失敗後に再試行」のチェックボックスがオンになっている。このオプションは赤い枠で囲まれている。

エクスポートの失敗処理の有効化

3. Umango が処理を再試行する間隔 (分単位) を入力してください。

エクスポートの失敗処理

割り当てられた宛先へのエクスポートに失敗したバッチは、再試行するようにスケジュールできます

☒ エクスポート失敗後に再試行

失敗のオプション

次の試行までの分数

5

あきらめるまでの試行回数

3

再試行の間隔

4. Umango が処理を諦める前に何回再試行するかを入力してください。

エクスポートの失敗処理

割り当てられた宛先へのエクスポートに失敗したバッチは、再試行するようにスケジュールできます

☒ エクスポート失敗後に再試行

失敗のオプション

次の試行までの分数

5

あきらめるまでの試行回数

3

再試行の最大値